



発行所  
北海道立正学園  
旭川実業高等学校  
旭川市末広8条1丁目  
TEL(0166)51-1246  
FAX(0166)51-9515



# 目標に向かい、

# いざ前進

## 平成30年度 学園経営の方針

平成30年度、最も懸念されていた入学確保は全教職員の努力により定員を超えた。しかし、少子高齢化の波は、歯止めがからず、昨年度の旭川市の出生数を見ても、私学の行く道は更に厳しさを増している。

新学習指導要領、新テスト「大入学共通テスト」「高校生のための学びの基礎診断」(工商)等に備え、カリキュラムの見直し

や英語教育の強化体制を図る。また、ICT教育設備の環境整備の充実化を推進していく。

現在、起きている大きな教育改革は、まさに教員の意識改革でもある。我々自身が自らを律し、初心を忘れず「誠実な人間の形成を目指した教育」、「心の教育」を常に心がけなければならない。我々が率先垂範せずして、時代の変化とニーズに沿った教育は出来ない。

全教職員は、『学園は生徒のためにある』を念頭に、『為せば成る』『不撓不屈』の旭実魂の気概を持って、教師間の連携を深め、教師と生徒生徒間の心をしっかりと繋ぎ合わせ、誠実さ、思いやり、粘り、努力の大切さを教えることに重点を置く。

そして、地域のボランティア活動などに積極的に参加するとともに、保護者との連携を深め、開かれた学校、地域に信頼される学園づくりを進める。

10日(火)に行われた「新入生歓迎集会」では、吹奏楽部の演奏に合わせて新入生が入場すると、初めて対面する2・3年生が温かい拍手で歓迎。新入生代表の田中望晴さん(特別進学コース・春光台中出身)が凛々しく「誓いの言葉」を述べ、各科の代表生徒に花束が手渡されました。

その後、生徒会による学校紹介やダンスサークルの歓迎パフォーマンス、吹奏楽部・太鼓部の歓迎演奏などがあり、終始和やかな雰囲気の中で終了しました。

**普通科・田中望晴さん**(春光台中出身)「勉強と水泳を両立させ、どちらもよい成績を残せるように日々努力し、充実した高校生活を送っていきたくいです。」

**商業科・佐藤聖花さん**(明星中出身)「将来、後悔することのないように資格取得や部活動、委員会活動に学校祭など、何事にも積極的に取り組み、充実した高校生活を送りたいです。」

平成30年度「入学式」が4月8日(日)に行われ、新入生354名が入学しました。新入生の皆さん、新たな夢に向かってスタートしましょう。

また、11日(水)には新1年生を対象に「部活動紹介」が行われました。本校は、体育系の部活動を中心に活発な活動が行われ、最近では同好会・サークルの活動も大変盛んです。

1年生の皆さんもぜひ積極的に参加して、充実した高校生活を送りましょう。

**自動車科・今井琉斗君**(緑が丘中出身)「私は将来、カーデザイナーか自動車整備士になりたいと思っています。そのために、まず目指すかを早くに決めてその夢に近づけるように努力していきます。」

**機械システム科・佐々木調音君**(東鷹栖中出身)「将来のためにいろいろな資格を取得できるように努力し、学校行事や部活動にも

**普通科・今井琉斗君**(緑が丘中出身)「私は将来、カーデザイナーか自動車整備士になりたいと思っています。そのために、まず目指すかを早くに決めてその夢に近づけるように努力していきます。」

**機械システム科・佐々木調音君**(東鷹栖中出身)「将来のためにいろいろな資格を取得できるように努力し、学校行事や部活動にも

## 各科基本方針

### 自動車科

教師と生徒が一致団結し、豊かな人間教育、確かな人材育成を行う。

### 機械システム科

法令遵守を徹底し、教師一人一人が共通理解に努め、誠実かつ心のつながりを大切にし、生徒の育成をはかる。

### 商業科

生徒が描く夢の実現を、教員一丸となってサポートする。

### 普通科

普通科の原点である「進学の実」をあげる。笑顔が溢れ心豊かな生徒を育成する。

## 交通安全教室

5月9日(水)5・6校時に、全校生徒を対象に「交通安全教室」を行いました。

今年、数年ぶりに屋外(学稼グラウンド)にて体験型講習会を行いました。自転車の模擬事故の再現や自転車走行中の歩きスマホの危険性など、生徒にとって交通安全の重要性を体感できる講習になりました。



## ボランティア活動

4月22日(日)「春季街頭啓発及びごみ拾い」(ボランティア)に本校生徒約200名が参加しました。この日は、朝10時30分に駅前広場に集合し、開会式の後、グループごとに駅前から買物公園にかけて、約1時間ゴミ拾いを行いました。皆さん、お疲れさまでした。